

(1) 負 荷 部

下部クロスヘッドは計力機パネル面の昇降スイッチによって、モータを回転し、これに連なる減速機、チェーンにより、ネジ桿を回転させ、非常にはやく昇降ができるようになっている。

テーブルと上部クロスヘッドは柱によって連結されてカゴ形を形作り、一体となって、テーブル下部のラムの昇降につれて作動する。

カゴ形の上部では、横方向の相互運動を拘束しているが、垂直方向に対しては案内コロが装着され、完全に自由になっている。

(2) 油 圧 装 置

油圧ポンプは計力機内部の油タンクの内に装備されて、計力機パネル面のスイッチによって、モータを回転して運転される。はき出された油はスライド式速度制御バルブを経て、テーブル下方のシリンダーに送られラムを上昇させる。

バルブの制御は計力機パネル面左下のツマミを回転させて行う。

(3) 安 全 装 置

テーブル（ラム）の上昇の限界点でスイッチが働き運転が停止される。また、過負荷制限スイッチが計力機内に装備されている。

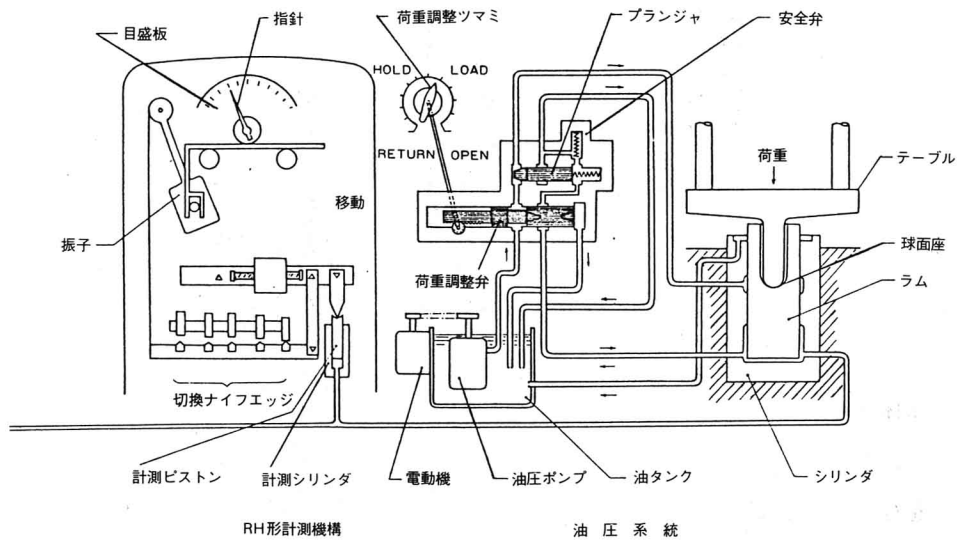


図 1-2 機構原理図

負荷は油圧により行い、ポンプから排出された油は、荷重調整弁を経てシリンダ内にはいり、ラムを押し上げてテーブルを上昇させ、試験片に負荷をあたえる。上部クロス